

ちから 確かな力で安心を実現!

都議会議員/都議会公明党議員団長
北多摩第3総支部 顧問

中島よしお

都民の声を聴き、党のネットワーク力を活かして政策を実現に導いてきた、中島よしおの主な実績を紹介します。



公式HP

実現 コロナ専用病院が開設 都の対策をリード!

2020年12月16日、都議会公明党が強く推進してきた新型コロナ専用病院が東京・府中市に開設されました(都内2カ所目)。中等症か軽症の患者が入院できるよう整備し、ベッドは100床を配置。ひっ迫する病床利用率の緩和に加え、一般病院の負担軽減にも効果が期待されています。その他、都の2020年度補正予算にて、高齢者・障がい者施設の利用者および職員に対するPCR検査の「全額補助」、医療従事者への特殊勤務手当支援事業、1日3000円の特別手当が決定。国との連携で最大20万円の慰労金が支給されるなど、新型コロナ対策をリードしています。



中島よしおをはじめ都議会公明党が府中市のコロナ専用病院を視察(2020年12月15日)

赤羽国交大臣に要望

道路陥没事故の対応急げ



住民の切実な声を原動力に、市都・国のネットワークで着実な問題解決を期する中島よしお(右から3人目)

調布市内で、東日本高速道路などによる東京外かく環状道路の地下トンネル掘削工事後に市道が陥没し、周辺2カ所で空洞が見つかった問題を巡り、中島よしおは2020年12月28日、調布市議会公明党の小林市議、平野市議、市民の代表らと共に国土交通省を訪問。赤羽一嘉国土交通大臣に早急な対応を求める要望書を提出しました。要望書には、徹底した原因究明や掘り進んだ地域の安全確認、住民への十分な補償などを明記。赤羽大臣は「声をしっかり受け止め、住民に寄り添った補償となるように検討する」と述べました。

実現 味の素スタジアムのバリアフリー化 災害時は車での避難所として活用!

- 車いすトイレ、エレベーターの増設。
- 災害時、車での避難所として活用へ。
- 最寄りの「飛田給駅」のエレベーター増設とホームドア設置。



実現 小中学校の体育館に冷暖房設置 教育無償化も推進!

- 調布・狛江両市の全ての小中学校体育館に21年度中の冷暖房設置が決定。
- 幼児教育、私立高校授業料の無償化を実現し、教育の無償化を強力に推進。



実現 多摩川の護岸補強工事や川底の土砂掘削など防災を強化!

- 2019年の台風19号で大きな被害を受けた、多摩水道橋(世田谷通り)の護岸補強工事や川底に積もった土砂を取り除く浚渫工事が決定。
- 小河内ダムの「利水」(水道水等の利用)に加え、「治水」(洪水対策)活用が開始。



コロナワクチンの確保と接種 公明が力強くリード

2020年11月23日、公明党北多摩第3総支部の時局講演会が開催。
秋野公造参議院議員(医学博士)が、新型コロナ対策について講演しました(要旨)。



講演する秋野公造参議院議員
(調布市グリーンホールで)

新型コロナの特徴と対策

新型コロナウイルスの特徴の一つは、唾液腺にも感染すること。マスクをし、飛沫を抑えることは有効です。空気中を漂う小さなマイクロ飛沫は、換気を行うことで床や机に叩きつけて、あとはアルコールで拭く。

ウイルスの表面は脂肪でできているので、脂肪を溶かすアルコール消毒は効果的です。①マスクの着用、②部屋の換気、③アルコール消毒。この3つで感染のリスクを大きく減らすことができるのです。

重症化を防ぐために

万が一、感染した場合、重症化しやすい方は、基礎疾患がある方。高血圧や高血糖などをコントロールして、重症化を防いで下さい。外出の機会が減り、陽に当たらず、運動不足となり、骨折する人が増えています。骨が弱くなるなら、心肺も弱くなっていることが考えられます。「よく寝て」「よく食べて」「適度な運動」を心掛ける。健康でいることが今まで以上に求められています。

治療薬の承認を推進

2020年3月、国会で「レムデシビル」という治療薬が必要だと申し上げました。その結果、「レムデシビル」の治験が始まり、5月7日には日本初の新型コロナウイルスの治療薬として薬事承認。重症化の割合を減らすために役立っています。



国民の命と
生活を守り抜く

ワクチン確保を後押し

製薬大手との交渉を円滑に進めるため、国会で「10兆円の予備費をワクチン確保に使うべき」と訴えました。予算を確保した結果、海外の複数の製薬会社と基本合意・契約を結ぶことができ、全国民に行き渡る量のワクチンを確保。各方面から感謝の声が寄せられました。さらに、ワクチンを共同購入し、世界の国々にも供給する国際枠組みへの日本政府の参加を進めました。

国民の声に耳を傾ける

「生命」か「経済」かという国民を分断するような主張が多くなっています。しかし、両方とも重要です。前例がない中、国民の息遣いや肌感覚に敏感に対応できるかどうか大切です。公明党こそ、新型コロナ対策のど真ん中で、仕事をさせていただける政党。これからも公明党は、現場の声に耳を傾け、国と都が連携し、全力を尽くしてまいります。